



2024-25 年度
国際ロータリー会長
ステファニー A. アーチック

Weekly Report Niigata



2024～25 年度
新潟ロータリークラブ会長

吉田 和弘

新潟 RC 3月第 2 例会 (2025.3.11) No.3546

(1) ロータリーソング「四つのテスト」斉唱

(2) 会長の時間 (吉田和弘会長)

水と衛生

3月11日を迎えました。東日本大震災から、14年の月日が過ぎ去りました。犠牲になった方に、改めて哀悼の意を表します。

あの日、皆さんはどちらで、何をしておすごしだったでしょうか。私は卒業式を終えて、学校に戻って一息ついているところでした。卒業式終わりは、一年の中でもっともホッとするひとときです。職員と話をしていると、経験したことがない長い周期の揺れを感じました。これはただ事ではないとみんなでテレビの前に集まり、一刻と被害がひどくなる様子を呆然と眺めていました。そのうちに、本校とお付き合いしている会社の工場がある気仙沼が、凄まじい津波に襲われたというニュースが流れ、関係する皆さんの安否をととても心配したことを覚えています。そのあとの経過については、皆さんそれぞれの関わりをされたと思います。

そして2024年の1月。能登半島地震が発生しました。

新潟市内と佐渡をあわせたエリアの会長幹事が集まる定例会が2か月に1度開催されるのですが、新潟西クラブの高木会長と隣り合わせたとき、お互い住所が西区だったことから、能登半島地震の際の被害、液状化現象からの復旧の話題になりました。高木会長はリフォームの会社を経営されています。そのため、地震発生直後から、多数の修理依頼が殺到するなか、ご自宅も被害を受けたそうです。その中で最も苦労されたのが「水」の問題だったそうです。断水のため炊事、洗濯ができないのはもとより、なんといってもトイレが使えなくなった2～3日は、本当に苦労をした、とおっしゃっていました。

今月のロータリーテーマは「水と衛生」です。安全な水と衛生設備の利用は、すべての人がもつべき権利。しかし汚染された水によって病気になる人や命を落とす人が後を絶ちません。また不十分な環境にある子どもたちは、水汲みなどの労働によって学校に通えず、

そのため学ぶ機会が奪われてしまっています。

それに対しロータリークラブは、安全な水と衛生設備の提供、衛生や伝染病予防に関する教育を行い、生活環境の改善や、子どもの通学率を高めるための活動を行っています。マイロータリーにはフィリピンやレバノン、パプアニューギニア、グアテマラといった国々で行われている取り組みが紹介されています。

翻って我が国の水道普及率は98.2%。水道水をそのまま飲めるのは、世界中で日本を含めて12か国しかありません。まさしく世界有数の水に恵まれた国であるわけです。

しかし、ひとたび大規模災害が起きると、先程の高木会長が経験されたように、環境は一変します。断水でトイレが使えなくなっても、生理現象はどうしようもありません。阪神大震災でも、東日本大震災でも使えないのにトイレに人が殺到してしまう「トイレパニック」が問題となり、そのたびにさまざまな対策が講じられてきました。

昨年の能登半島地震のケースを調べてみたところ、

「携帯トイレ」が広く活用されパニックを最小限に食い止めることができた、という資料が見つかりました。携帯トイレは水洗トイレが流れない時、便器などに取り付ける使い捨ての便袋で、脱臭剤や便を固める凝固剤入りがあり、1回分は数百円程度のコストです。Amazonで調べましたら、100個入りで6,180円、一個あたり62円でした。日常のトイレの使勝手に近いのは携帯トイレであり、お年寄りや体の不自由な方のことを考えると、利便性が高いのだと思います。

この携帯トイレを日ごろから備蓄（最低3日分、推奨は7日分）し、初動を誤らなければ、パニックは起きないことが明らかになったそうです。災害が起きても、早い段階で正しいトイレ対応を周知する地域コミュニティーと経験豊富な支援者がいれば、衛生環境を短期間で正常化できるそうです。

復興庁の調査によると、災害関連死の原因で最も多いのは「避難所等における生活の肉体・精神的疲労」で、トイレの使用ができず、水分の摂取を控えたために体調を崩してしまったケースも多かったそうです。トイレの問題が災害関連死に直結してしまうわけです。災害にはさまざまな対策が必要になるわけですが、トイレのリカバリーは重要度高いものであると実感できます。今後新潟クラブとして防災の一助に携帯トイレの普及の活動をするのも、意義ある事業になるのではと考えました。

◎今週のお店紹介

中国料理 福香（ふくか）村上市松原町3丁目3-2

◎今週のミニスピーチ

小林 建(株)コバリキ代表取締役社長

(3) 委員会報告

- ・半期決算報告（小川潤也会計）
- ・半期決算監査報告（敦井栄一監査役）

(4) 各種ご寄付の発表

ロータリー財団寄付発表(本多 晃委員長)

織戸 潔君 本多 晃君

米山奨学会寄付発表(榎本 豊委員)

織戸 潔君 石橋 正利君

青少年育成基金寄付発表(五月女政義委員長)

本間 彊君

(5) ニコニコボックス紹介（江波 恒夫委員）

・石本隆太郎君 今から35年前、ロータリー 一年交換学生としてカナダに留学させて頂きました、長女真紀子の長男が、このたび念願の大学受験に合格いたしましたので。

・千葉 辰也君 誕生日のワインありがとうございました。今月は息子の中学卒業も控えているので一緒にお祝いしたいと思います。

・佐藤 紳一君 結婚記念日、忘れていました。それよりも結婚していたことを忘れていました。苦笑

(6) 幹事報告（小林 慶直幹事）

・本日、午後2時30分より新潟市役所へ85周年記念事業として中原市長に能登半島地震の寄付、100万円をお渡ししてきます。

・例会終了後、香港島東 RC 受入打ち合わせをロビーにて開催いたしますので、担当の国際奉仕、米山奨学委員会のメンバーはご出席ください。

(7) 会員スピーチ

・「地域企業・団体の人材育成プラットフォームを目指して」
事業創造大学院大学学長 五月女 政義君

・私の生業「信用金庫って、そうなんだ。」
新潟信用金庫専務理事 高山 克幸君

(8) 3月11日の例会参加率

会員数	算定対象者	出席者	参加率
81	80	51	63.75%

Zoom 参加 3 名

3月18日の例会プログラム 「会員スピーチ」

・「施工事例のご紹介」

(株)ユアテック新潟支社

専務執行役員支社長 長谷川久晃君

・「ドコモのあんしん・あんぜんの取り組みについて」

(株)ドコモ CS 新潟支店支店長 塩野貴義君

新潟ロータリークラブホームページアドレス

<http://www.niigatarc.jp/>